

ウッドデザイン協会アンケート2023結果まとめ



**JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2023**

調査概要

●調査期間2023/12/6（水）-12/8（金）

●調査対象エコプロ来場者1096名

・設問項目

■属性

①ウッドデザイン賞・マークの認知度

②ウッドデザイン賞マークの印象

③最優秀賞・優秀賞作品の中で印象深い作品

④木材製品・木造建築のあったらいいと思う場所

⑤木材製品を取り入れたい理由

⑥木の産地・木製品の製造国への意識

⑦自由記述

ウッドデザイン賞 2023 アンケート

あなたの好きなウッドデザインを
教えてください！



（調査目安約5分）

▶ご自身のスマホで上のQRコードを読み込み、アンケートにお答えください。
▶写真画像もスキャンにお見せいただいた方に、素敵なプレゼントを差し上げます。
（応募枠2000名限定・抽選で全応募者1000名）

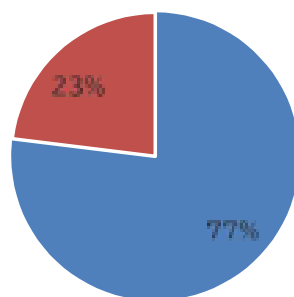
ウッドデザイン・木材利用に関する簡単な
匿名アンケート調査にご協力ください！



回答者に占める関係者の割合は、**女性26%、男性37%**。前回(22年)よりも**関係者の割合が男女とも若干増**。

2022年

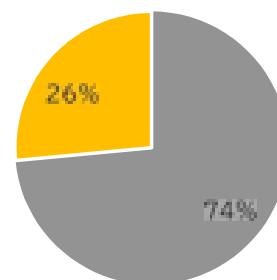
女性関係者割合



■非関係者 ■関係者

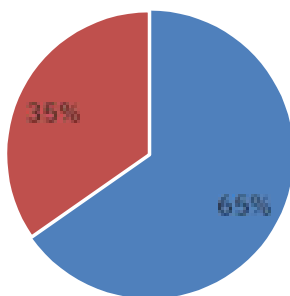
2023年

女性関係者割合



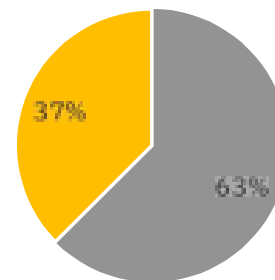
■非関係者 ■関係者

男性関係者割合



■非関係者 ■関係者

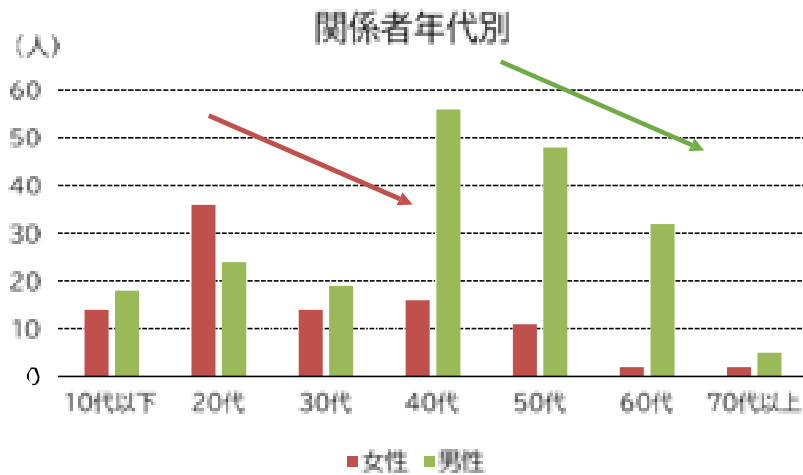
男性関係者割合



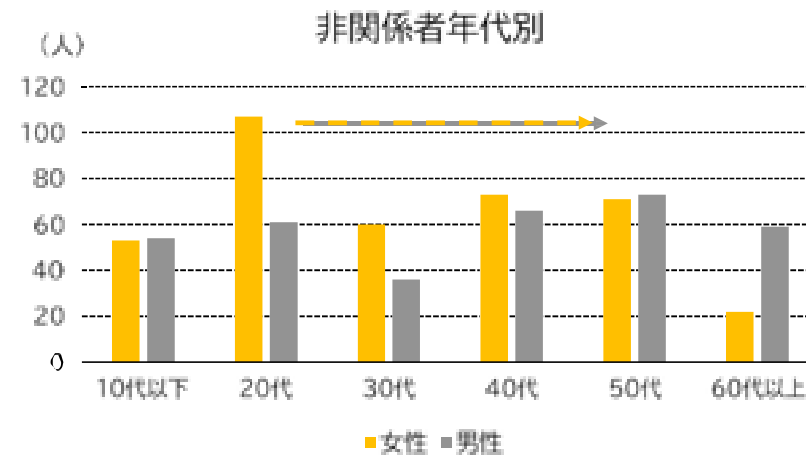
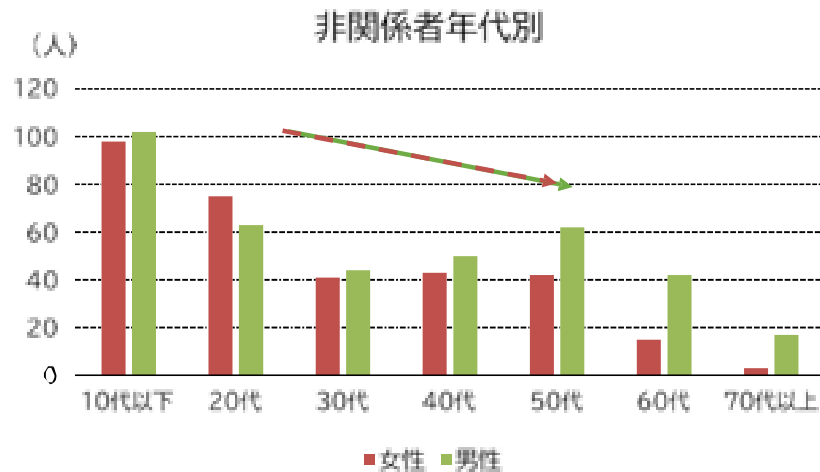
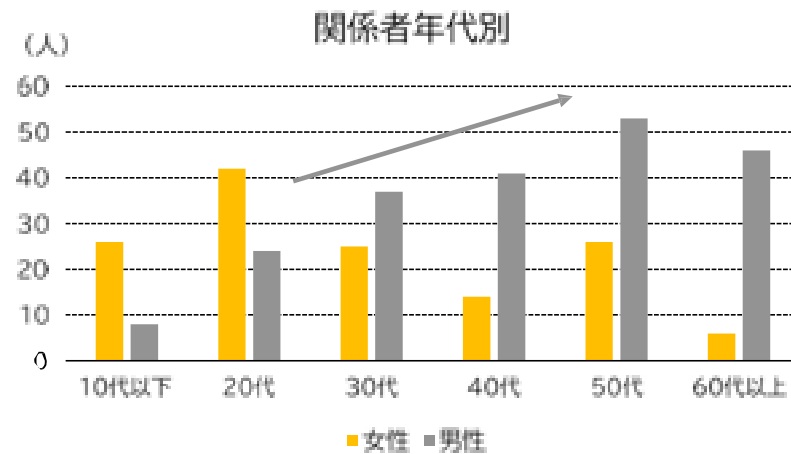
■非関係者 ■関係者

関係者は、女性は20代以降、漸減傾向。男性は30代以降が多い。非関係者の割合は、前回（22年）は若い世代が多い傾向にあったが、**今回（23年）は世代差は大きくない。**

2022年



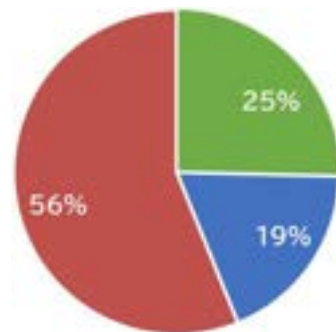
2023年



認知の割合は前年並み

2022年

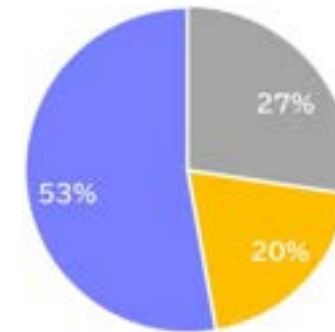
Q. ウッドデザイン賞のマークを知っていましたか？



- 木を使った優れたデザインとして選ばれたマークであることを知っていた
- 意味はよく知らないが、そのマークは以前に見たことがあった
- 知らなかった

2023年

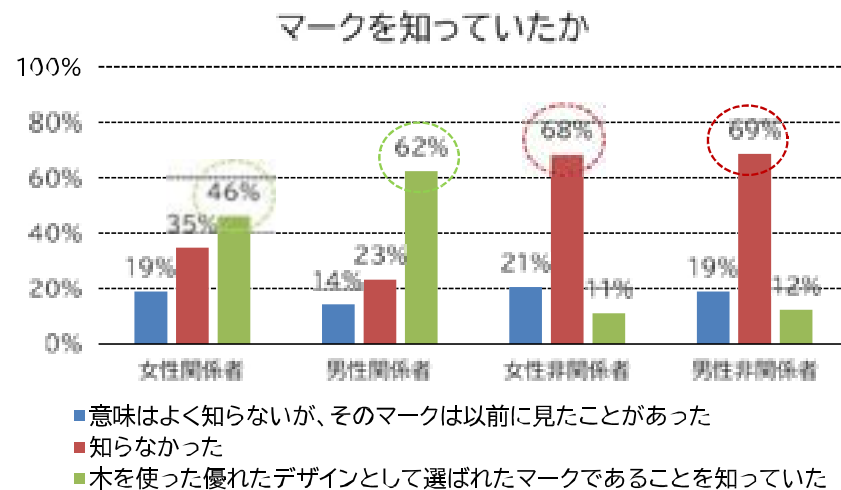
Q. ウッドデザイン賞のマークを知っていましたか？



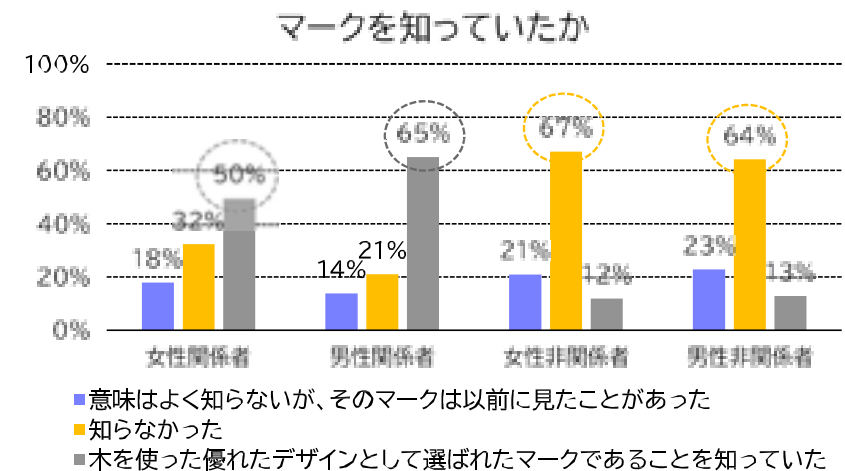
- 木を使った優れたデザインとして選ばれたマークであることを知っていた
- 意味はよく知らないが、そのマークは以前に見たことがあった
- 知らなかった

マーク認知度に対する回答者の割合は、関係者で知っていたが女性が5割、男性が6割半ば。
非関係者で知らなかったは男女ともに6割半ば。

2022年

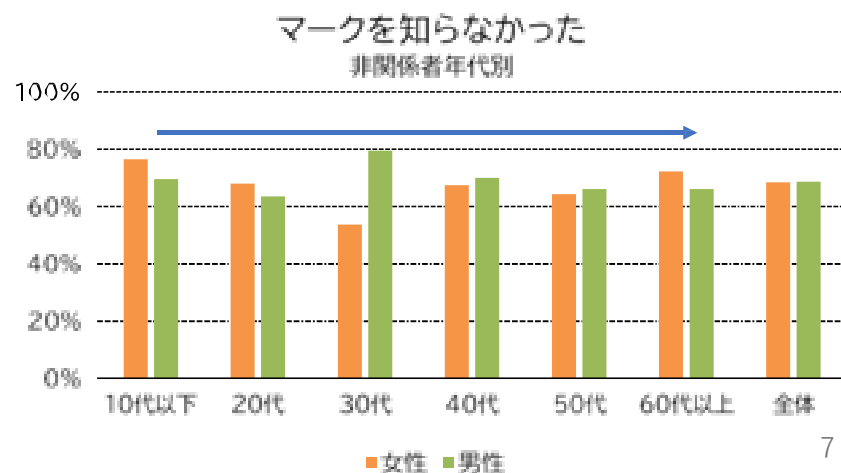
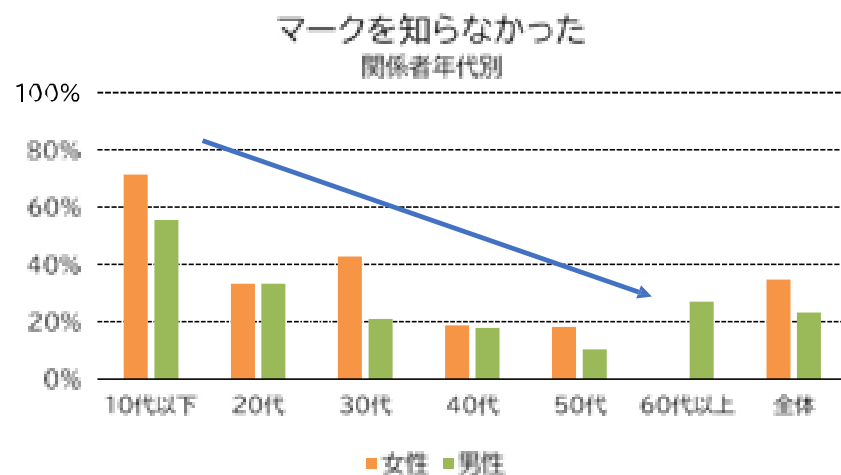


2023年

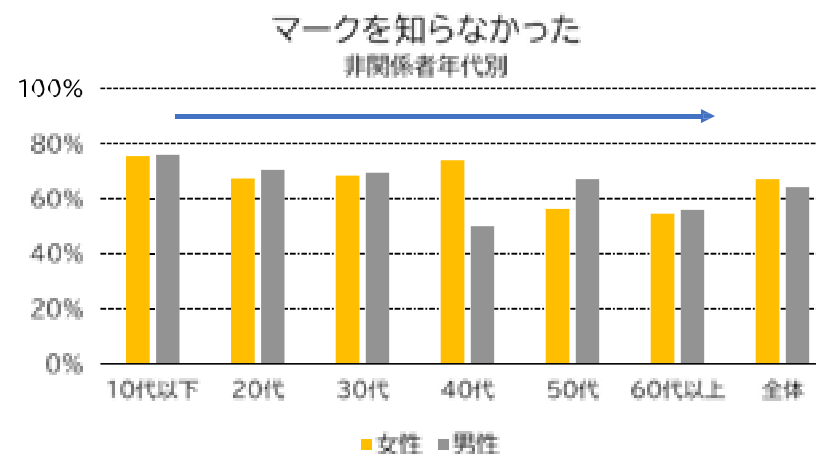
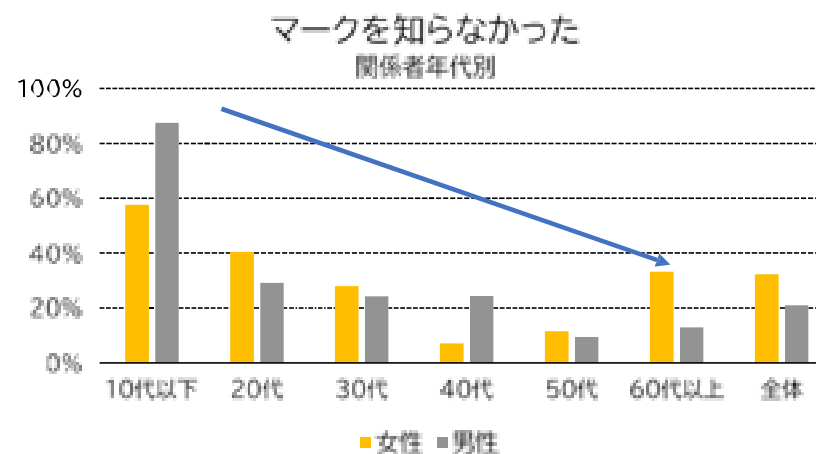


世代別にみると、**関係者は若い世代ほど認知度が低い**が、非関係者は世代によらない。

2022年



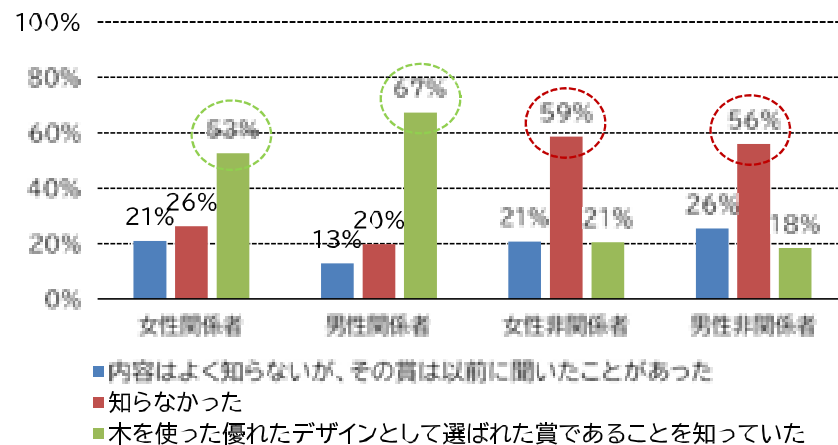
2023年



賞については、関係者で知っていたが女性が5割半ば男性が7割弱。非関係者で知らなかったは女性が5割、男性が5割強。**非関係者はマークよりも賞のほうが認知度が高い。**

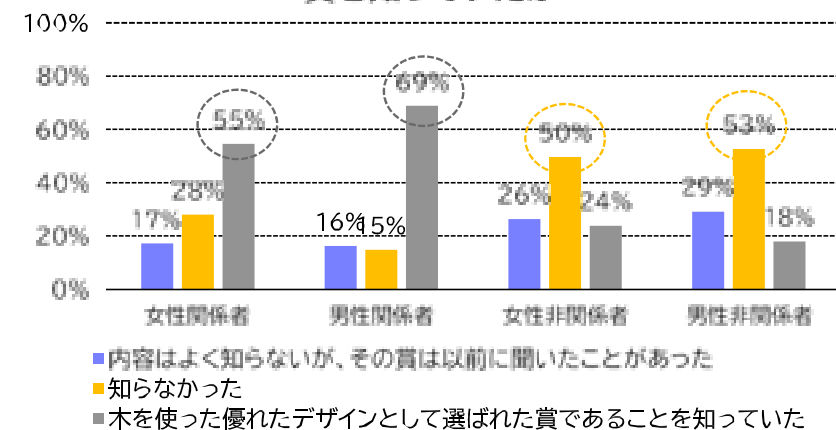
2022年

賞を知っていたか



2023年

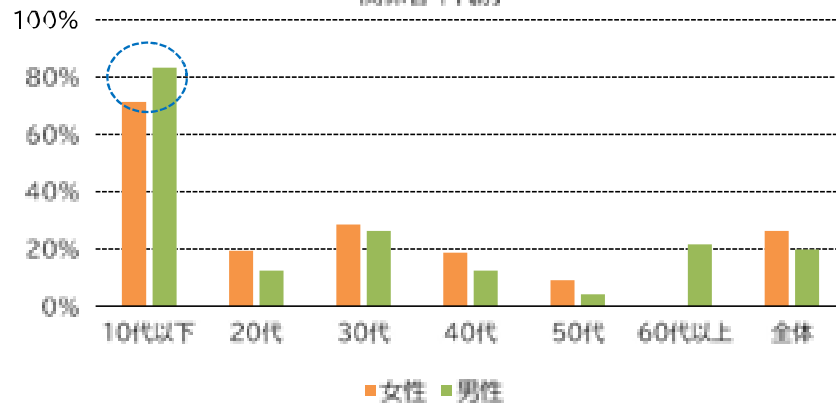
賞を知っていたか



世代別にみると、関係者は10代以下で認知度が低い、**非関係者はあまり世代によらない。**

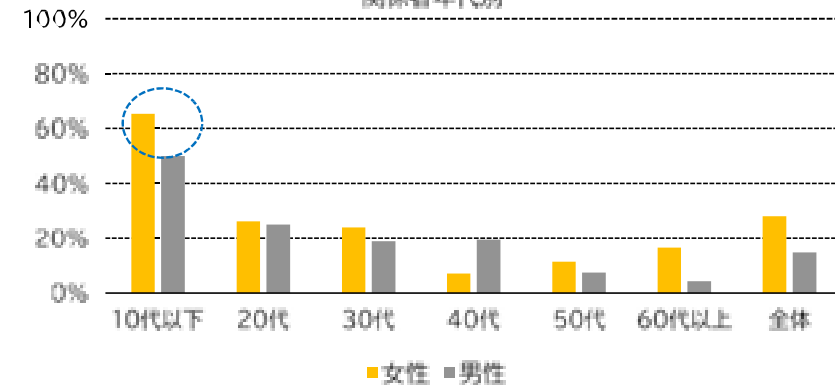
2022年

賞を知らなかった
関係者年代別

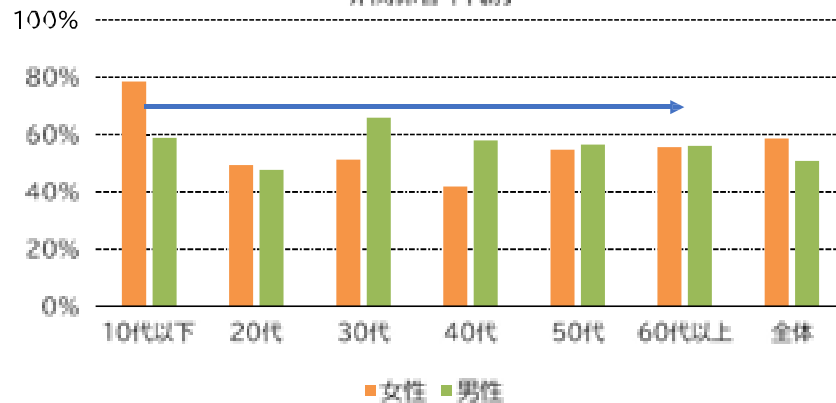


2023年

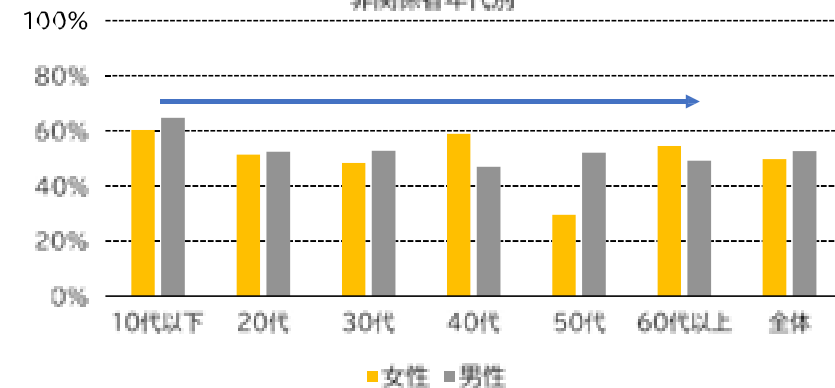
賞を知らなかった
関係者年代別



賞を知らなかった
非関係者年代別

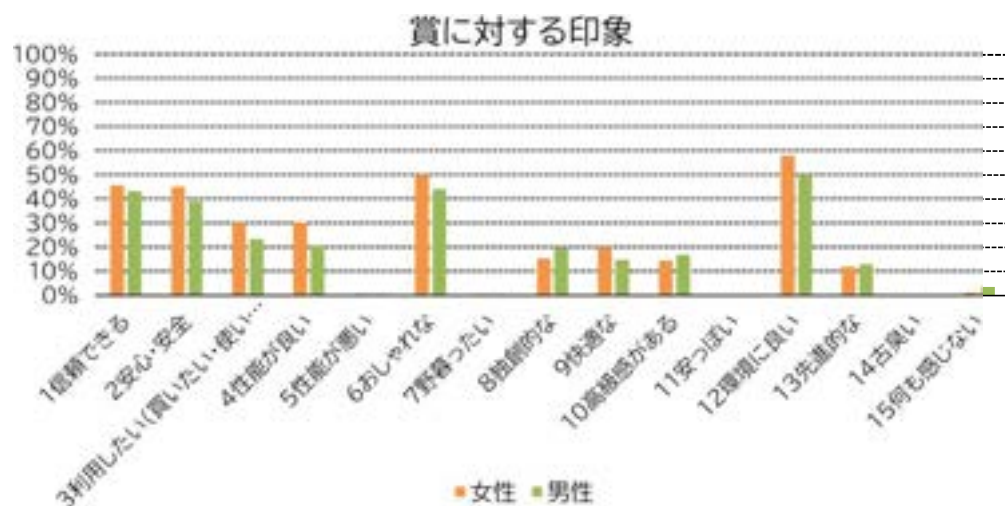


賞を知らなかった
非関係者年代別



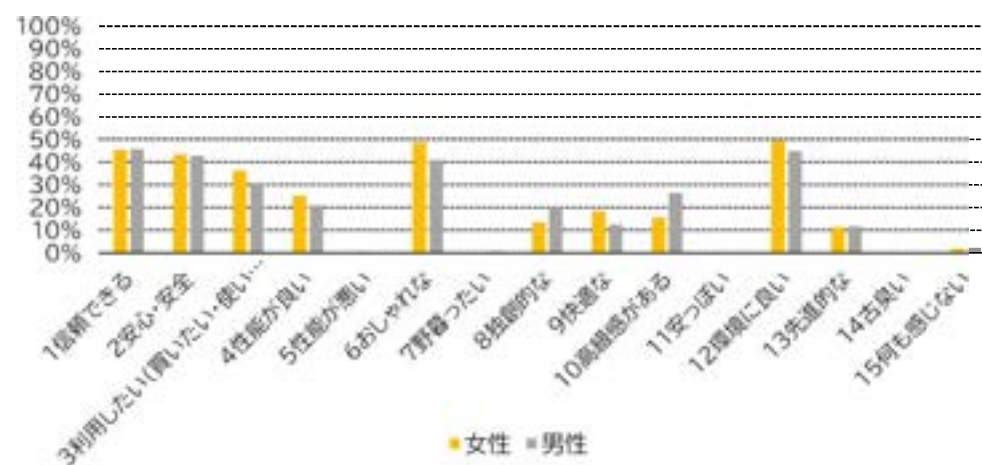
賞に対する印象については、性別にあまり差はない。「環境に良い」、「おしゃれな」、「信頼できる」、「安心安全」、「利用したい」の順のイメージは、前回とあまり変わりはない。

2022年



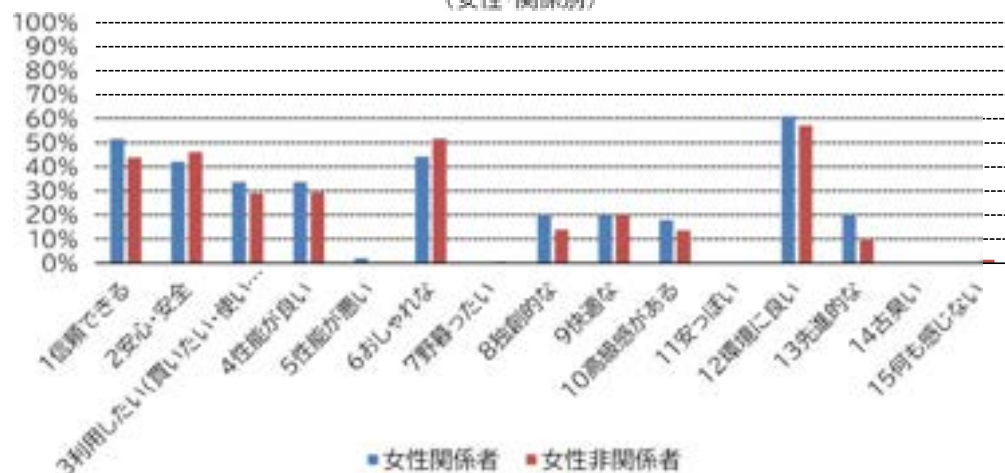
2023年

賞に対する印象

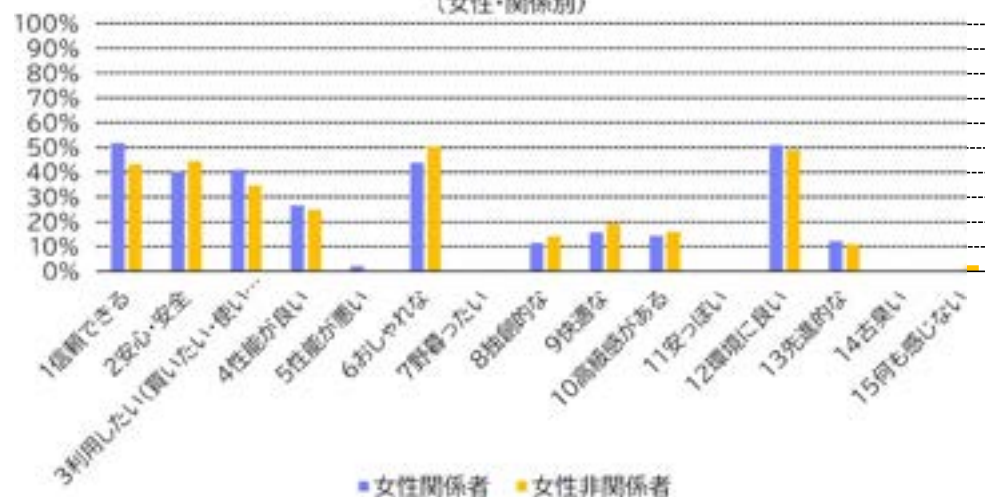


賞に対する印象について、**関係者、非関係者にあまり差はない。**

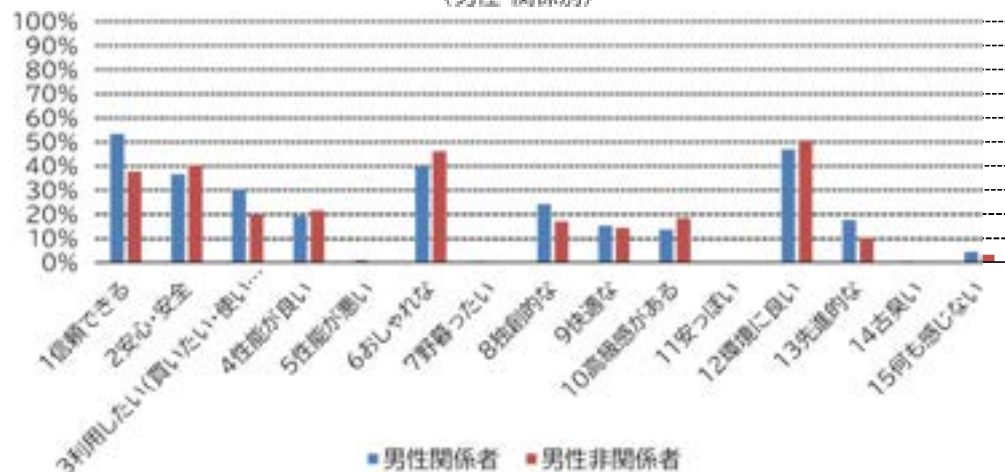
2022年
賞に対する印象
(女性・関係別)



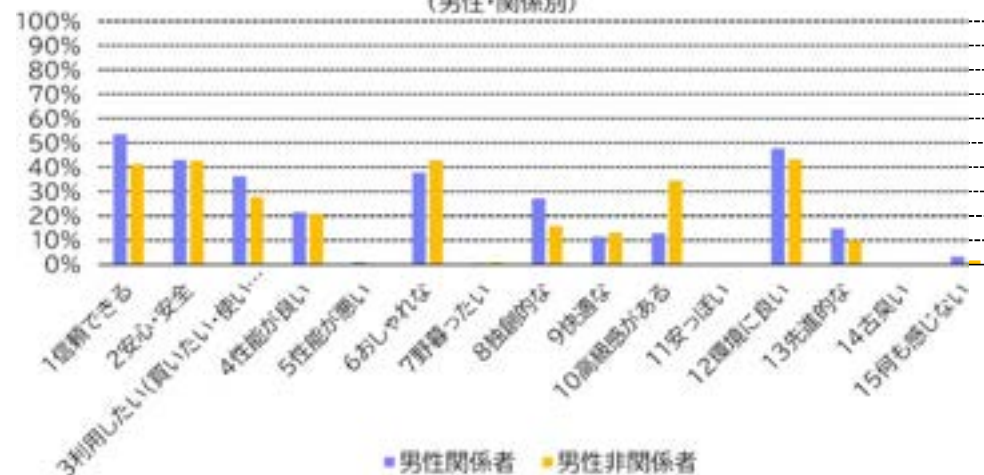
2023年
賞に対する印象
(女性・関係別)



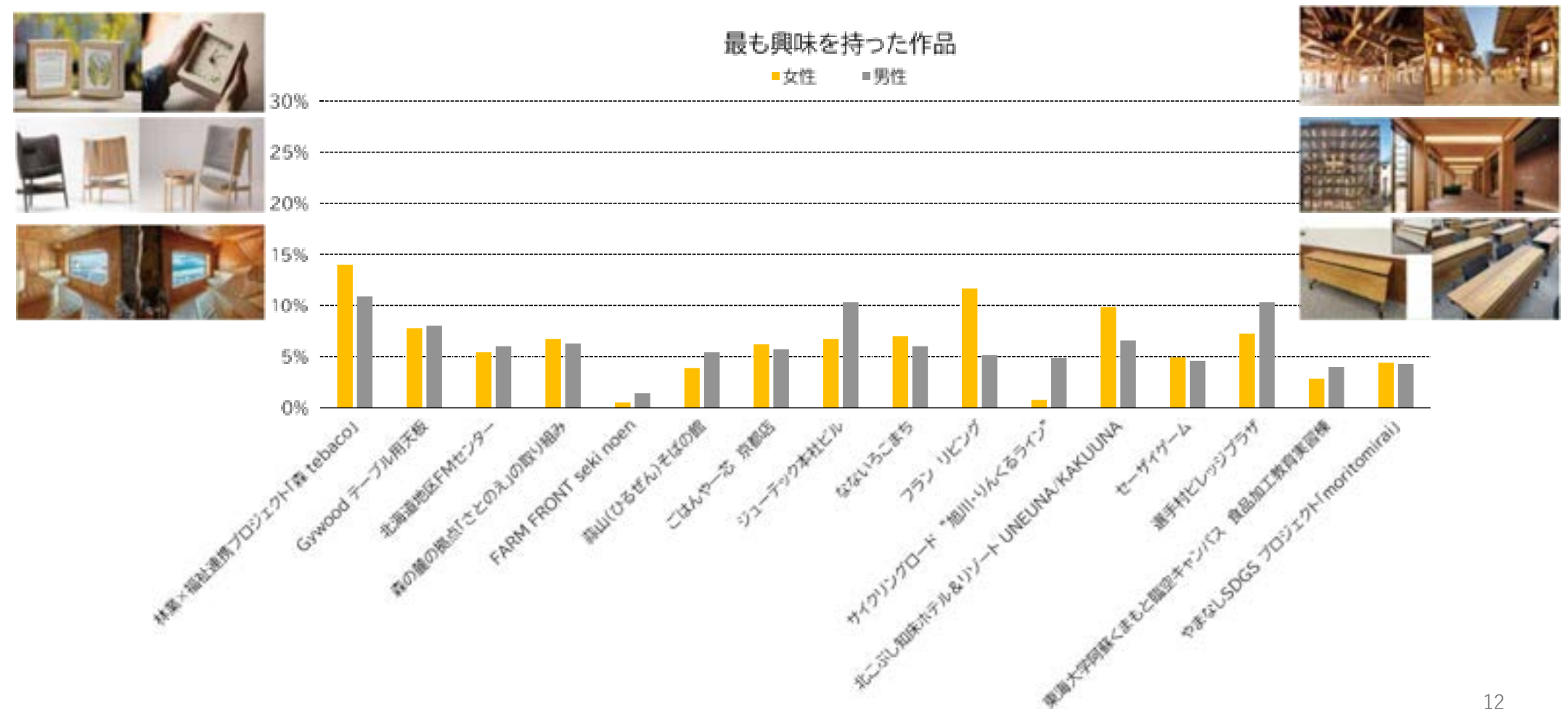
賞に対する印象
(男性・関係別)



賞に対する印象
(男性・関係別)

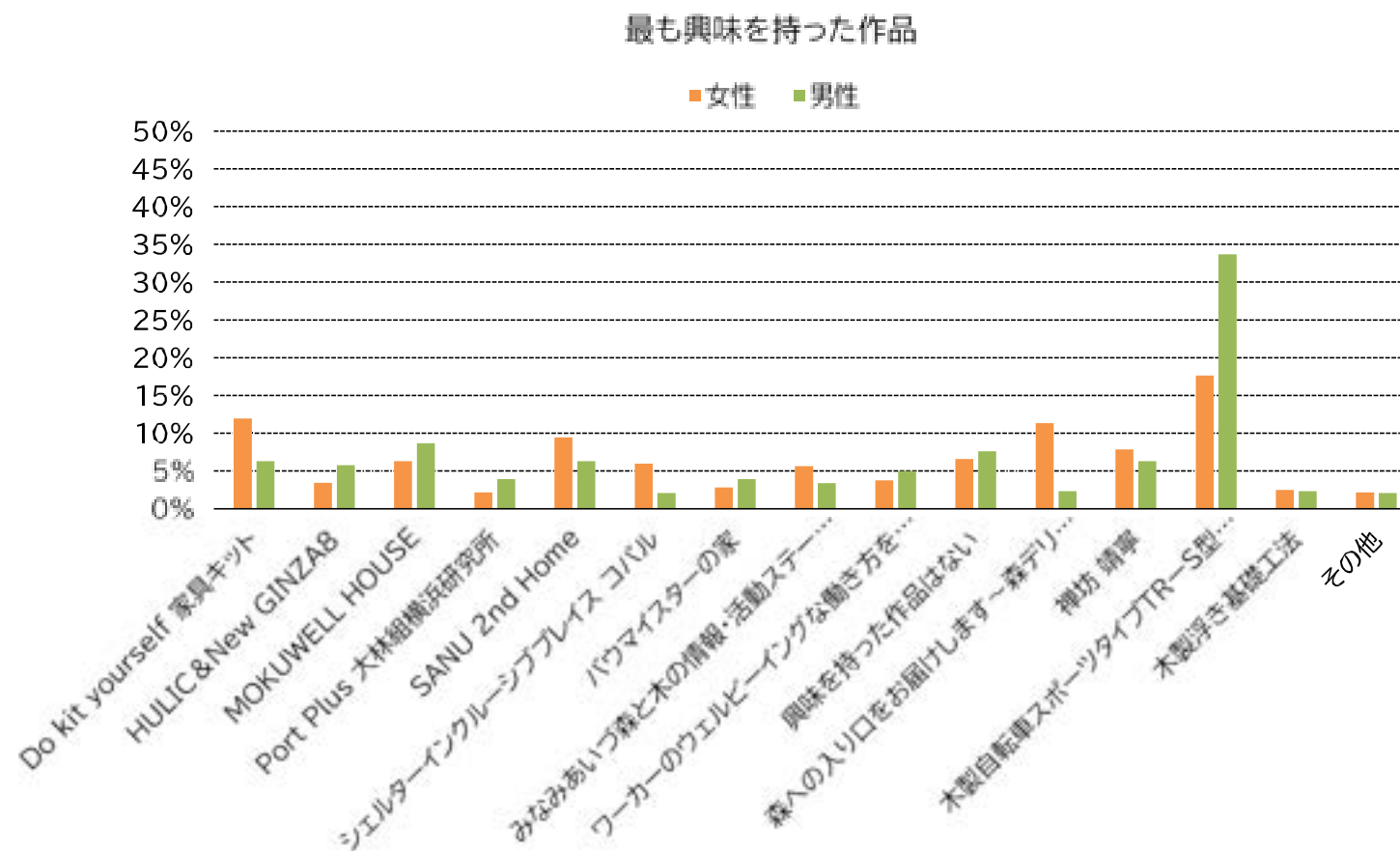


最も興味を持たれた作品は、男女ともに「**林業×福祉連携プロジェクト「森 tebaco」**」。
 続いて、**女性**は「**フラン リビング**」、「**北こぶし知床ホテル&リゾート UNEUNA/KAKUUNA**」、
「Gywood テーブル用天板」の順。
男性は、「**選手村ビレッジプラザ**」、「**ジューテック本社ビル**」、「**「Gywood テーブル用天板」**」の順。



(参考) 2022年の場合

最も興味を持たれた作品は、**男女ともに「木製自転車」**。続いて女性は「森デリバリー」、「家具キット」。男性は、「MOKUWELL HOUSE」、「家具キット」「禅坊」。(なお、関係者・非関係者に差はない。)



(参考)
215件中93件が、驚き、50件がデザイン性を評価、12件が乗ってみたいという意見。

木製自転車スポーツタイプTR-S型 E-thruタイプ		非関係者	
関係者			
男性	女性	男性	女性
木の自転車に乗ってみたい	本当に乗れるのかなぁと思いました。とてもきれいで、木の可能性を感じました	木で自転車を作れるのはすごいと思ったし環境にもいいからとてもいいと思います	かっこよかった
かっこいいし、目を引くため	作り手を知っているから	見たことのない自転車だったから。	あまり見ないから
木の強度など今後に期待ができる	乗ってみたいと	耐久性にすぐれていることが衝撃的であったから。	自転車は使えるものだから。
デザインが気に入った	木製だと壊れそうなのに壊れない仕様のようなから	木では、できることが限られていると思っていたがそれは違い、きは沢山のところで沢山の役に立っていることがわかった。	木で自転車が作れるとは思ってなかった。
木の持つ暖かみのある色や滑らかな形状が自転車のデザインに合っていて素敵だと思ったから。	デザインの良さ	自転車が好き	始めてみた形で面白いと思ったから
カッコいい。	フレームに木を使うという発想が面白い上に、購入したい、あつて欲しいと感じ	自分の趣味だから	木を使った自転車は面白いと思った
ワクワク感があります	趣味でロードバイクをしていて、TVで走っているのを見たことがあり、興味があった為。	木で自転車が出来るなんてしなくて、すごいなと思ったから。	木で自転車も作れるのは凄と思った。
木材に必要な強度基準などに興味を持ったから	かっこいい	普段は使用して木で作られていないところ木だけで車輪を動かすのがすごいと思ったから	木製の自転車を見るのは初めてで驚いたし、安全面も考慮された自転車だと知ったから。
デザインがかっこいい		珍しいから	木を使ったものが好きだから
木を使った自転車制作は技術が大事だから		フレーム部分のデザインが良い	初めてみてステキだと思いました
驚いた		カッコイイ	見た目がかっこよくて欲しいと思った
素晴らしいアイデアだから。とても乗り心地が良さそうだから。		普段乗るから	木の自転車は新しいアイデアかつ環境にも良いものだと思った
自転車が好きだから		デザインがシャープで、とても凝っていて良いと思いました。	木の自転車を初めて見てすごく綺麗だと思ったから
木を自転車のフレームという発想		自然のものを、つかっていたから	乗ってみたいと思った。
自分でも使えるかも。		色がいい組み合わせだから	自転車のフレームに使うという独創性がとても面白いです
おしゃれて、このような		ありそうでなかったこと。目立つこと間違い	今までに見たことがなく、興味を持ったため、性能が良さそうだと思ったから
木材で自転車を製造する発想の良さ。			実用的なのがおどろきました4
お洒落			アルミや鉄に代わる耐久性を持っていると知りませんでした。
木製で実用強度が出るのか興味を持った			
いのえいていぶ			
温かみとカッコよさ			

興味を持った理由

「森tebaco」は、若い世代が選ぶ割合が高いが40代に男女差。

・林業×福祉連携プロジェクト「森 tebaco」(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、デザインの可愛さや実用性、環境への配慮、福祉との連携などに魅力を感じています。また、提案されたプロジェクトや商品が身近に取り入れやすく、自然と触れ合える点に惹かれています。デザインの良さやコンセプトに共感し、生活に取り入れたいと思う声も多く見られます。

(Google Gemini)

- 福祉との連携：障がい者の方々が製作に携わっていることや、福祉施設との協力体制などが評価されています。
- デザイン：特に「可愛い」「おしゃれ」「素敵」といった言葉が多く使われており、多くの人がデザインを気に入っていることが伺えます。
- 機能性：木の温かみを感じるという意見も多く、木の素材を生かした製品であることが評価されています。手軽に使える、生活に取り入れやすいという意見は、プロジェクトの目標の一つである「身近な暮らしの中に森と木を取り入れる」というコンセプトを体現していると言えるでしょう。
- 環境：環境に配慮しているという意見も目立ち、持続可能性への意識の高さが伺えます。

男性

(Chat GPT3.5)

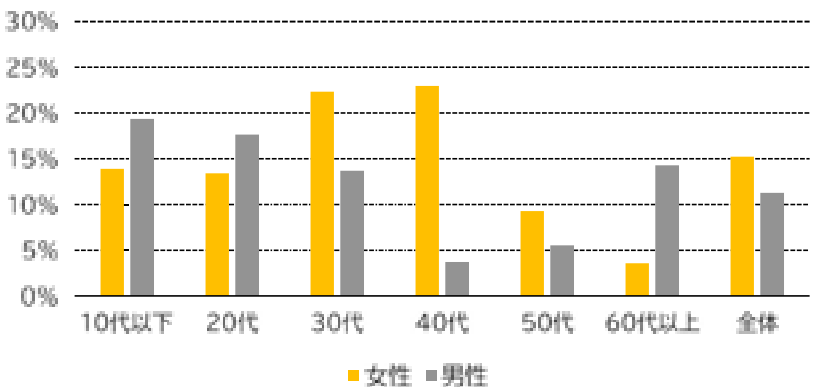
参加者は、林業と福祉の連携や環境に配慮した取り組みに注目しています。デザインや実用性の良さ、社会貢献の面から評価しています。また、福祉に関心があることや新しい取り組みに対する興味もあります。

(Google Gemini)

- 福祉との連携: 多くの人が、林業と福祉の連携という点に共感しており、障害者の方々の就労支援や、木材の有効活用といった社会貢献につながる素晴らしい取り組みだと評価しています。
- デザイン: 時計やオブジェのデザインがおしゃれで素敵だという声が多くありました。
- 機能性: 日常的に使える実用性の高い製品であることや、木の温もりを感じられる質感などが評価されています。
- 環境: 環境にやさしい素材であることや、森を守る活動に貢献している点が支持されています。



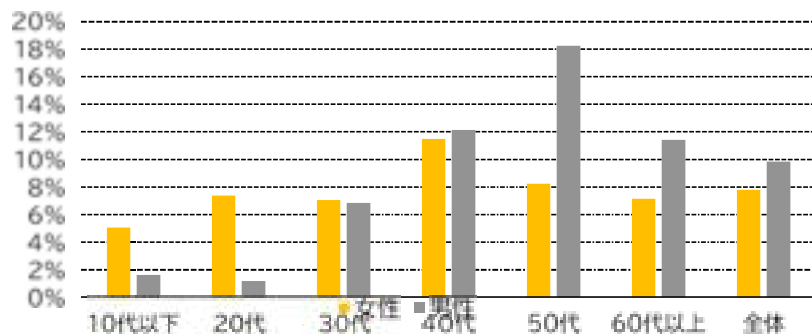
林業×福祉連携プロジェクト「森 tebaco」



「Gywood」は、**男性の中高年層**が特に関心。



Gywood テーブル用天板



■ Gywood テーブル用天板(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、環境への配慮や杉の多様な使い道に注目しています。商品の美しさや実用性、軽量性、環境への配慮を評価し、オフィスや学校など幅広い場面で利用できる可能性に期待しています。また、杉の圧密技術により、曲がりを抑えられる点や、工具不要で取り替えが可能な点にも好意的な反応があります。

(Google Gemini)

- ・ 環境への配慮：環境に優しい素材・製法。杉の植林による花粉症対策効果。国産材の活用による環境負荷低減。
- ・ デザイン性：洗練されたデザイン。木目調の温かみ。オフィスや学校などの空間をスタイリッシュに。
- ・ 機能性：強度と耐久性。軽量で扱いやすい。工具不要で設置・取り替え可能。乾燥による反りや曲がりを抑止。
- ・ 利用シーン：テーブル、椅子、備品など、様々な用途に活用可能。学校、オフィス、家庭、自治会館など、幅広い場所で利用可能。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、表面の圧密技術や強度向上に注目しています。彼らは、耐久性やデザイン性、実用性を評価し、学校やオフィスなどで活用できる可能性を期待しています。また、木材の温もりや環境への配慮に対する好意的な反応もあります。

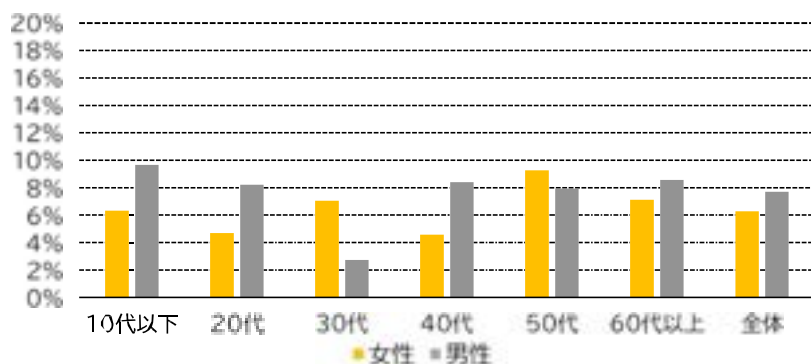
(Google Gemini)

- ・ 製品の特徴：表面圧密技術により、強度と高級感が向上。スギ材でありながら、表面が固くなり耐久性が増加。軽くて扱いやすい。デザイン性が高い。
- ・ 利用シーン：学校：教室の机や椅子、備品など。オフィス：会議室のテーブルや椅子など。家庭：ダイニングテーブル、家具など。その他：自治会館、公共施設など。
- ・ 評価：木の温もりを感じられる。環境に優しい。実用性が高い。既製品との差別化が可能。新しい木材利用の可能性を感じる。

「FMセンター」は、世代による偏りが小さく、幅広い世代に関心。



北海道地区FMセンター



■ 北海道地区FMセンター(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、建築に関心があり、特に木造建築に興味を持っています。北海道の環境に根ざした建築を高く評価し、環境への配慮やデザイン性、工夫された構造に感銘を受けています。建物の温もりや環境への調和、デザインの洗練さに加えて、訪問したいという意欲も示しています。

(Google Gemini)

- ・ 地域性：北海道の環境に馴染んでいる。地域に根ざした建築である。
- ・ 木材：木材利用が想像つかない洗練されたデザイン。木の温もりを感じられる。木造化が素敵。使用木材や部材の工夫。
- ・ デザイン：カッコいい。デザインが面白い。意匠が素晴らしい。すごく複雑なデザインだが、綺麗で無駄のない建築。環境と調和しているデザイン性
- ・ 空間：素敵な建築、空間。コンパクトなのに、奥行きがあった。模型で熱量が伝わってきた。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、木造建築に興味を持っており、特に木材の組み方や工法に注目しています。デザインの美しさや先進性、環境への配慮に感銘を受けており、地域資源の活用や地域材の有効性に期待しています。また、建物の内外装のデザインや光の取り込み方にも興味を示しています。

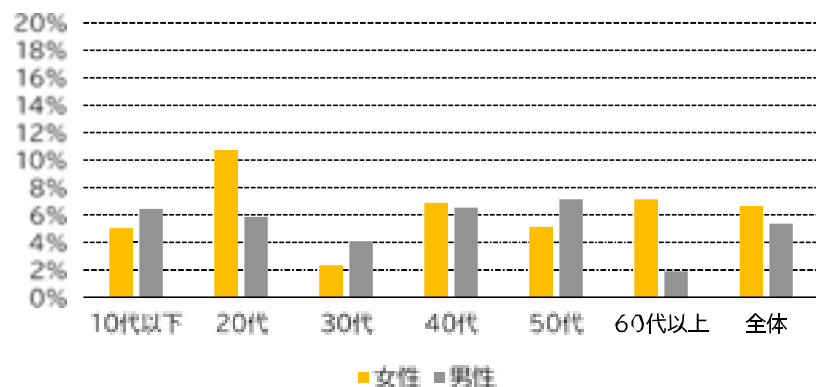
(Google Gemini)

- ・ 工法・構造：先進的、すごい、興味深い。新しい木造建築の可能性を感じさせる。地域材を有効活用できる。雪の中でも耐えられる強度。
- ・ デザイン：美しい、カッコいい、面白い、印象的。木と融合したデザイン。光と景色を活かした開放的な空間。地域材を使ったデザイン。

「さとのえ」は、20代の女性の関心が最も高い。



森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み



■ 森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、建物から温かみや美しさを感じ、デザインやコンセプトに共感しています。自然との調和や都市生活との両立、教育の課題への取り組みなど、建物の目指す方向性に好意的です。展示方法や模型に好印象を持ち、建物の独創性や機能性に注目しています。

(Google Gemini)

- ・ 木材の質感や香り、空間の使い方など、五感で楽しめる要素が高評価。
- ・ デザイン画や模型の完成度も高く、来場者の興味を引いた。
- ・ 自然と共存する暮らしへの憧れや、都市生活との両立への希望を感じた人も多い。
- ・ 独創的な建築や、森との一体感を評価する声もあった。
- ・ 子どもの参加型イベントや、地域貢献活動への関心も見られた。

男性

(Chat GPT3.5)

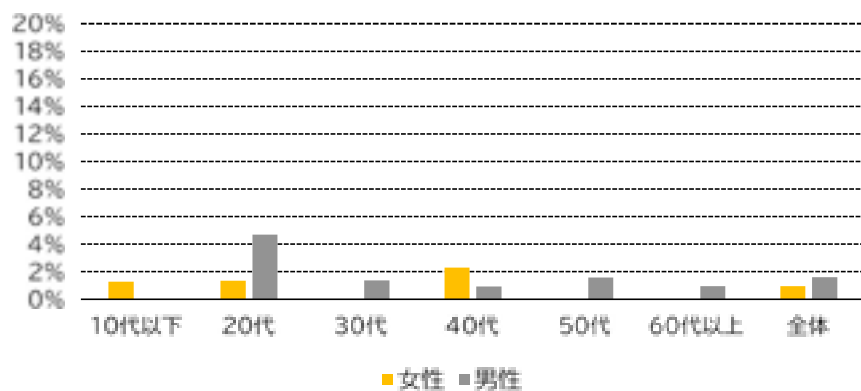
参加者は、建築の独創性や自然との調和に感銘を受けており、デザインの美しさや機能性に注目しています。彼らは自然の温かみや環境への配慮、地域への貢献など、サステナビリティに焦点を当てた取り組みに賛同しています。また、地域や地元企業に対する愛着や貢献意識も示しています。

(Google Gemini)

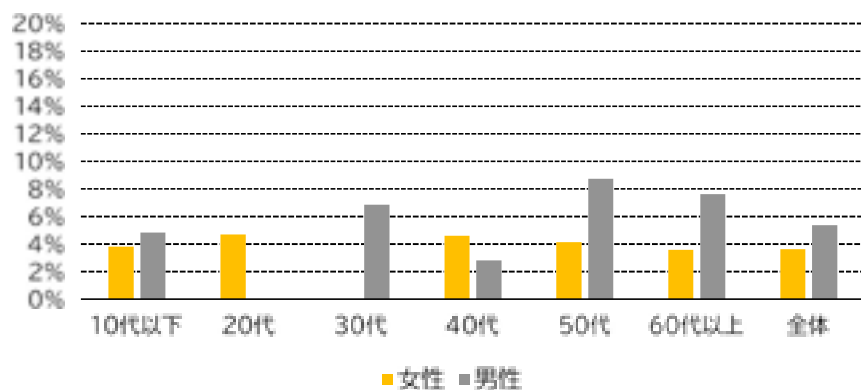
- ・ 自然との調和：多くの人が、森と調和したデザインを評価しています。
- ・ 建築：素朴でありながら機能性に優れている、スタイリッシュであるなどの評価があります。
- ・ デザイン：特に、自然との調和や洗練されたデザインが評価されています。
- ・ 空間：広々としていて温かみを感じる空間であるという評価があります。
- ・ 地域との連携：地域との連携やサステナビリティへの取り組みが素晴らしいという評価があります。

「蒜山（ひるぜん）そばの館」は、**男性の高年層**が関心。

FARM FRONT seki_noen



蒜山(ひるぜん)そばの館



■ FARM FRONT seki_noen(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、その建物をおしゃれだと感じ、訪れたいと考えています。建物が環境に配慮し、木の温もりを感じさせる点を評価しています。また、その建物が小規模でありながら受賞していることに興味を持っています。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、南魚沼の地域との調和や自然の美しさを感じ、農業と林業の統合に感心しています。また、建物にはもったいない精神が表れており、洗練されたデザインや美しいスギ材に魅了されています。

■ 蒜山(ひるぜん)そばの館(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

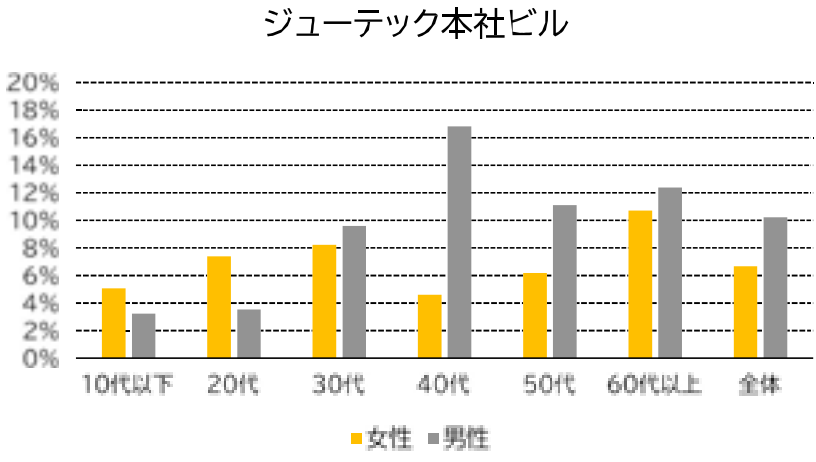
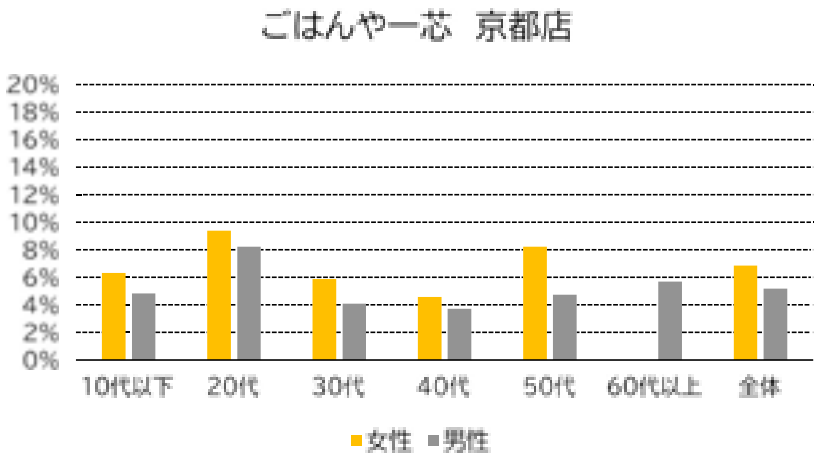
参加者は、建物のデザインや雰囲気に惹かれて、近くに住んでいるにもかかわらず訪れてみたいと思っています。特にハニカムブロックや屋内の落ち着いた空間、デザインの美しさに魅了されています。また、建物の雰囲気が蕎麦屋とマッチしていると感じ、食事を楽しみたいと考えています。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、建物はカッコよく、自然と調和したデザインで、日本の里山にふさわしいと感じています。また、地域や食文化との関連性も感じ、建物の温かみや木造の特性に感心しています。自然素材の活用や空間デザインに関心を寄せ、地域性を感じたため、訪れてみたいと考えています。

「**ジュテック本社ビル**」は、**男女で世代間に差。**



■ **ごはんや一芯 京都店**(AIによる意見の要約)

女性
(Chat GPT3.5)
参加者は、磨き丸太を利用したお店の独創的なデザインや木の温かみに魅了されました。京都のおしゃれな雰囲気や美味しいご飯屋さんとしての評判も理由の一つ。木の素材の有効活用や伝統的な建築の手法を現代に取り入れる取り組みに興味を持ちました。それぞれの意見から、店内の磨き丸太の利用や木の温もりが訪れる人々に好印象を与えていることが分かります。

男性
(Chat GPT3.5)
参加者は、木材の再利用や無駄のない利用に関心を持ちました。飲食店での木材利用や、木の再生利用に共感しました。デザインや内装の落ち着いた雰囲気、オシャレさに好感を持った参加者も多くあったようです。また、木材の表面仕上げや紋りが美しいという点や、伝統産業の美しさを引き出していることに注目しました。これらの意見から、木材の再利用や伝統的な素材の活用に対する関心が高いことが分かります。

■ **ジュテック本社ビル**(AIによる意見の要約)

女性
(Chat GPT3.5)
参加者は、建物のおしゃれさやデザインの美しさに注目しました。木材を仕上げ材として使用する建設プロジェクトに関心を示し、木質耐火集成材を使った建築や木造ビル全体に対する称賛がありました。また、木の温かみと近代感が融合したデザインや開放感のあるオフィス環境に魅了された参加者もいました。木造ビルのカーボンニュートラルへの貢献や耐震性に関心を寄せる声もありました。建物のデザインや外観の美しさ、そして木造建築に対する期待や評価が表明されました。

男性
(Chat GPT3.5)
参加者は、デザインの美しさや優れた点に関心を示しました。都心で木を使った建築が先進的だと考える人もいました。木材の合理的な利用や実用性に注目し、環境への負荷を低減する取り組みに好意的な声もありました。建物の魅力を建物内装や外観から感じる参加者も多く、木の美しさを称賛する声もありました。また、木造建築の未来性や魅力に期待する声もありました。

「フランリビング」は、**男性よりも女性の関心が高い。**

■ なないろこまち(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、街や施設に関して、その魅力や素晴らしさを述べました。多くの人が街や施設のデザイン、コンセプトに共感し、特に子育てや家庭の温もりを重視する視点から肯定的な感想を述べました。街のコミュニティ形成や空間の魅力に注目し、自然に溢れた環境や温かみを強調する声もありました。また、医療施設における木材利用や温もりの感じられるデザインに対する好意的な反応も見られました。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、町や施設に対してポジティブな感想を述べました。エコでオシャレな雰囲気やデザイン、木の利用などに好意的な反応がありました。特に、人と木の共存や安らぎを重視した取り組みに共感し、コミュニティ機能や自然との調和を評価する声がありました。施設の形状や雰囲気、地元での見た目など、実際の景観に魅力を感じる意見もありました。また、未来の住居として木を使った優しい空間やウェルネスな環境に関心を示す参加者もいました。

■ フラン リビング(AIによる意見の要約)

女性

Chat GPT3.5)

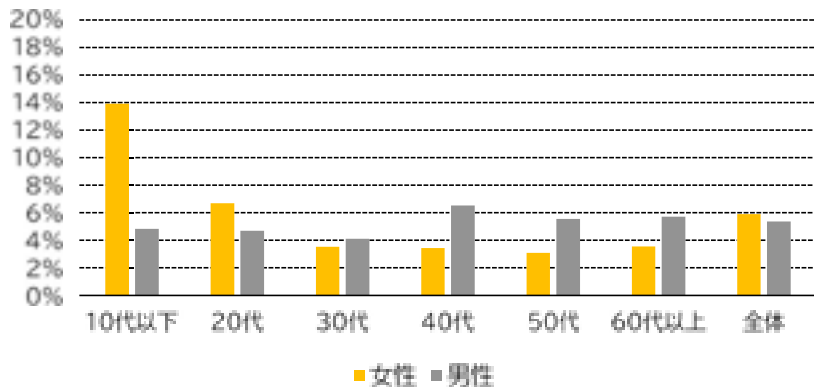
参加者は椅子のデザインに対して肯定的な意見を述べました。多くの人がデザインのおしゃれさやモダンさ、そして使い心地の良さを称賛しました。特に、木を使った温かみのあるデザインや、座り心地の良さを重視した声が目立ちます。また、デザインのシンプルさや機能性、個性的なフォルムに魅力を感じる参加者もいます。結果的に、多くの人がこの椅子を自宅に置いて使いたいと思う気持ちを表明しました。

男性

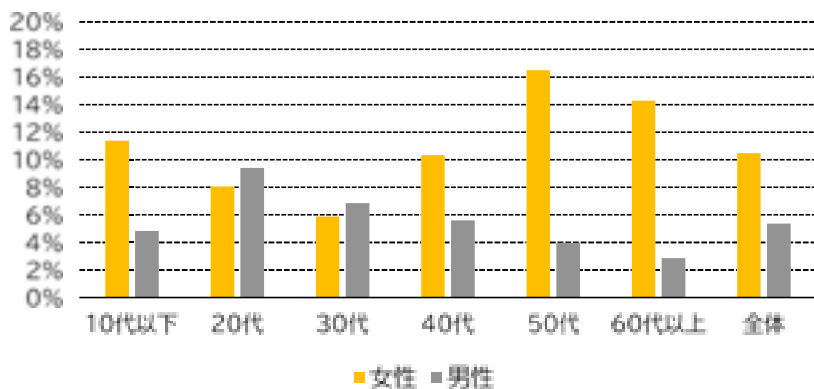
(Chat GPT3.5)

参加者はデザインや機能性に対して好意的な意見を述べました。多くの人がデザインの魅力や機能性に注目し、使いやすさや快適性を評価しました。特に、おしゃれで環境に配慮されたデザインや、木と快適性のバランスが良いと感じる声がありました。デザインが新しい形をしていたり、洒落ていると感じたりする参加者もいました。また、座り心地や素材の感触に関する肯定的なコメントもありました。

なないろこまち

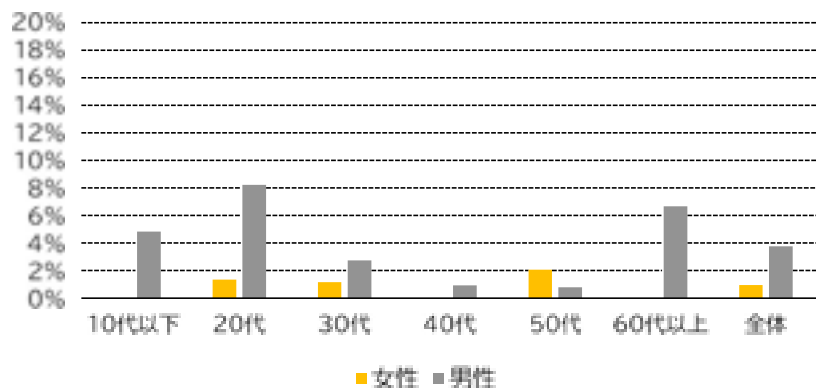


フラン リビング

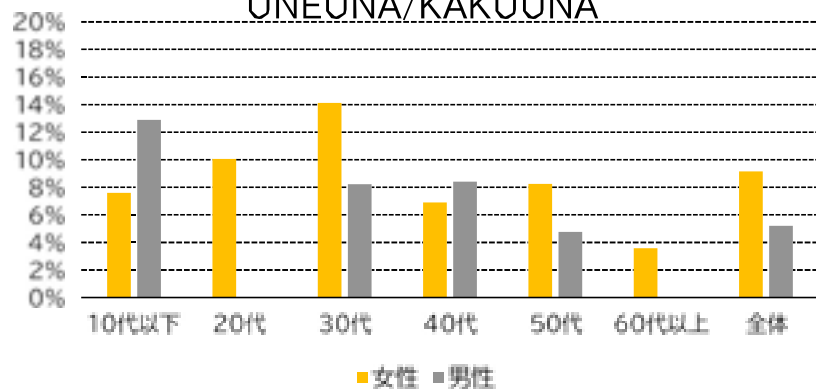


「りんくるライン」は、**男性**の方が、「知床ホテル」は、**女性**の方が関心高い。

サイクリングロード “旭川・りんくるライン”



北こぶし知床ホテル&リゾート
UNEUNA/KAKUUNA



■ サイクリングロード “旭川・りんくるライン”(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、模型の美しさに感銘を受けました。その作品が自然を感じさせ、身近な存在として魅力的であると感じました。彼らはその美しさに感心し、作品を称賛しました。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、自然の中で自転車を体験できることに興味深さを感じ、地域に溶け込むデザインや安心感を評価した。木材に興味があり、自分にとって身近な存在感があると感じた。人と自然が交わる場所を提供するアイデアに共感し、林の中を走る感覚を楽しめることに興味を持った。自転車が木材で作られていることに驚きを覚え、環境への配慮も評価した。一体型のまちづくりやサイクリングロードに興味を持ち、その発想に魅力を感じた。

■ 北こぶし知床ホテル&リゾート UNEUNA/KAKUUNA(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、木の形やデザインに魅了されて、サウナ体験をしたいと思った。綺麗な空間や自然との調和を感じ、木の温もりを活かしたデザインに惹かれた。曲線や独創的なデザインが印象的で、訪れてみたいという気持ちが湧いた。また、環境への取り組みや北海道の自然とデザインが融合した施設に興味を持った。

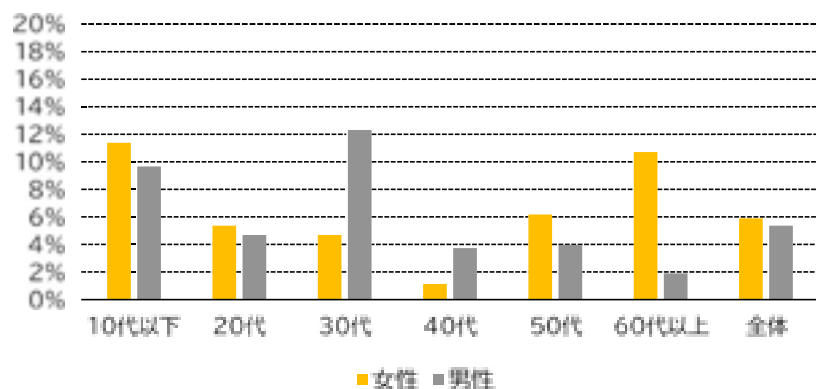
男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、デザインが美しく、カッコいいと感じ、環境に優しい先進的な雰囲気に惹かれて行ってみようと思った。眺めが良さそうで泊まってみたいと思ったほか、木質化がサービスに高級感を与えていると感じた。知床での斬新な木の洞窟イメージやサウナ利用の工夫に感心した。

「セーザイゲーム」は、**10代以下が男女ともに関心。**

セーザイゲーム



■ セーザイゲーム(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者からは、木材や製材に関する知識を学びたいという興味や関心が表明されています。ゲーム形式で学べることや、製材所の仕組みを楽しく理解できる点に魅力を感じているようです。また、木材に関する知識が少ない人にとって興味深いツールとして捉えられています。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、林業や木材の製材に関する知識を楽しみながら学ぶことができるという面白い取り組みに関心を寄せています。展示がアクティブで体験型であることや、ゲーム性を持たせて楽しく学べる点が好評です。また、木の質感や加工技術に関心が示されています。

■ 選手村ビレッジプラザ(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

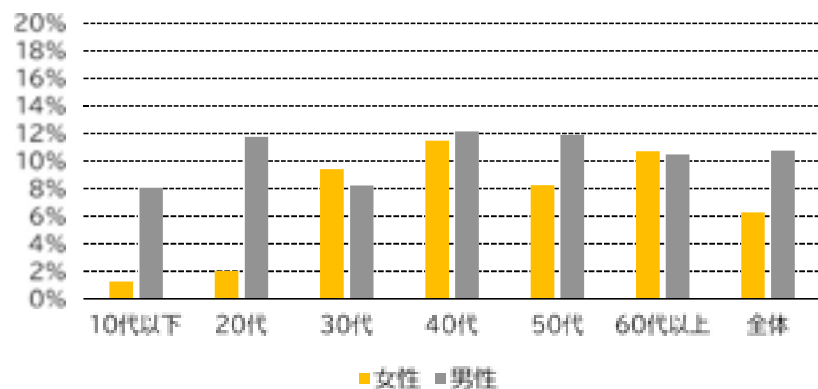
参加者は、木材を用いた大空間のデザインやその環境への配慮を賞賛しています。デザインの魅力や木材の持つ温かみに関心が寄せられているほか、オリンピックやテレビでの報道を通じて興味を持ったという声もあります。また、地域への木材の返還や公共事業への貢献に対する肯定的な意見も見られます。

男性

(Chat GPT3.5)

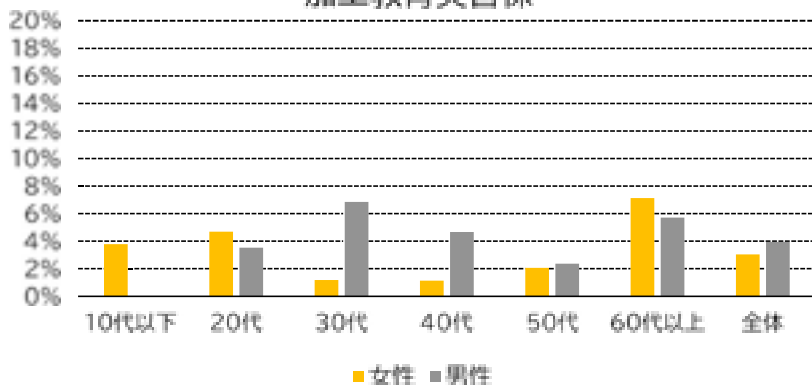
参加者は、木材の新しい使い方やデザインに対する関心を表明しています。選手村のデザインが木を活かしたものであることや、木の持つ自然な魅力や温もり注目する声があります。また、木材の再利用やサーキュラーエコノミーに対する評価も見られます。デザインの独創性や機能性、使われている木材の返却と再利用に関する取り組みに対する肯定的な意見もあります。

選手村ビレッジプラザ

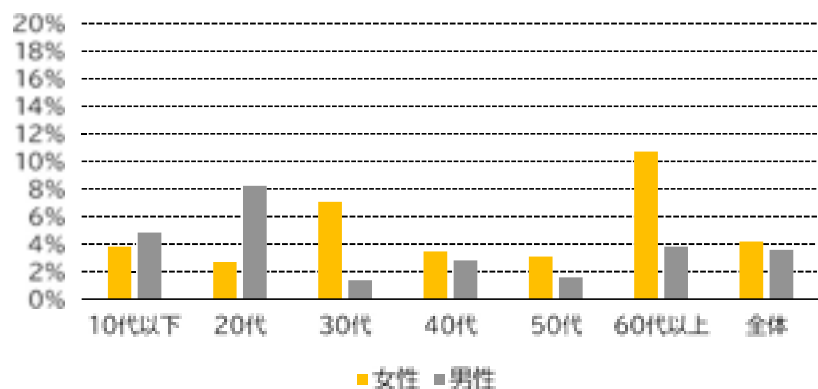


「臨空キャンパス」，「moritomirai」は、世代や男女でばらつき。

東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス 食品
加工教育実習棟



やまなしSDGS プロジェクト「moritomirai」



■ 東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス 食品加工教育実習棟(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、広々としたデザインや木材と景色の融合が美しいと感じたこと、熊本の大地震の被害を目にしたことから、災害復興に寄与する素晴らしい計画だと思ったことなどを挙げています。また、デザインの独創性や斬新な構造に対する興味、木の温もりや素朴な雰囲気に対する好意的な感想も述べられています。

男性

(Chat GPT3.5)

参加者は、環境にやさしい建物であることや、素敵なデザインに対する好意的な感想を述べています。天井や空間の使い方、斬新なデザインなどが特に印象的であり、無駄のないコンセプトやCLTの使い方に興味を持っています。建物が木の温もりやオシャレさを表現していることや、被災した建物の復興のシンボルになる可能性があることにも触れられています。

■ やまなしSDGS プロジェクト「moritomirai」(AIによる意見の要約)

女性

(Chat GPT3.5)

参加者は、環境教育やSDGsに関心があり、学生や大勢の人を巻き込むことによる拡散力を期待しています。また、エシカルな取り組みや再利用の取り入れ、ゲーム要素の面白さ、自治体の取り組みへの理解などが強調されています。

男性

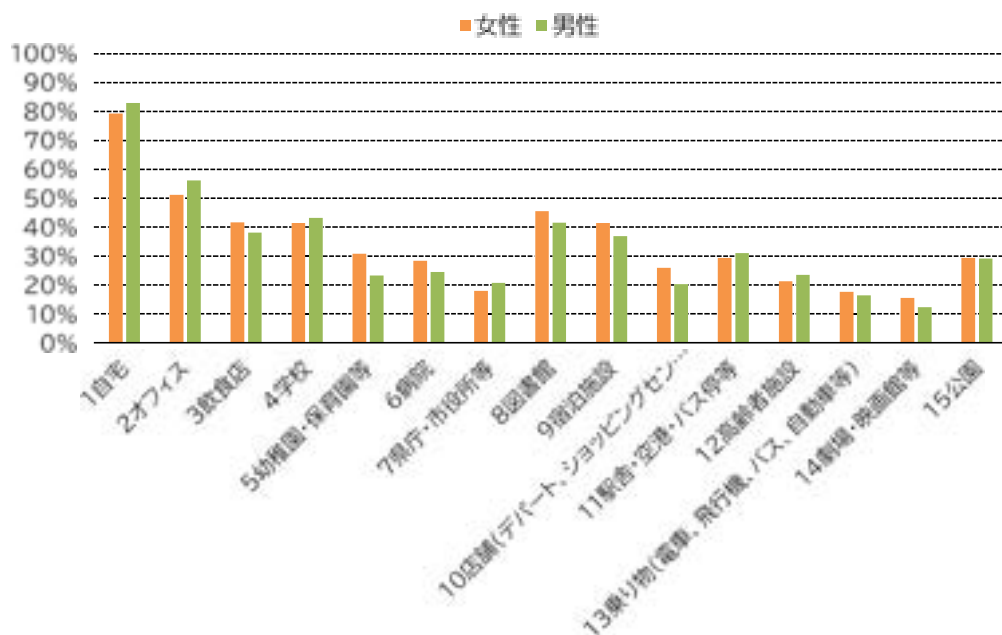
(Chat GPT3.5)

参加者は、環境教育やオシャレで先進的な取り組みに興味を持っています。また、森林の学びや地域社会全体での取り組みに価値を見出しており、SDGsとの組み合わせや小さな取り組みの重要性にも言及しています。さらに、地域との連携や共創に関心を寄せていることが示されています。

あったらいいなと思う場所は、**自宅、オフィス、学校、図書館、宿泊施設**の順に高い。

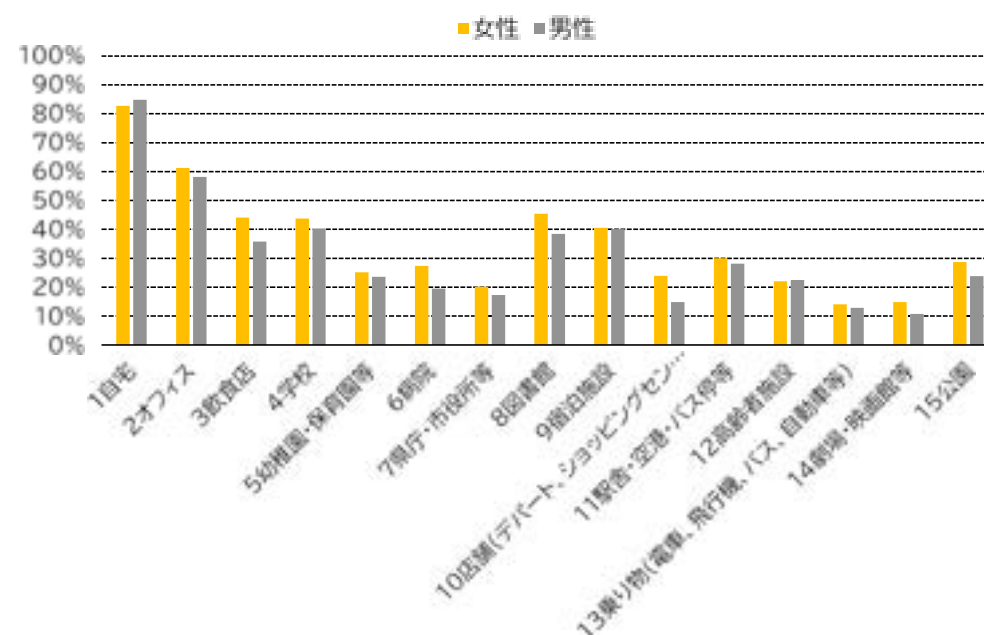
2022年

あったらいいなと思う場所



2023年

あったらいいなと思う場所

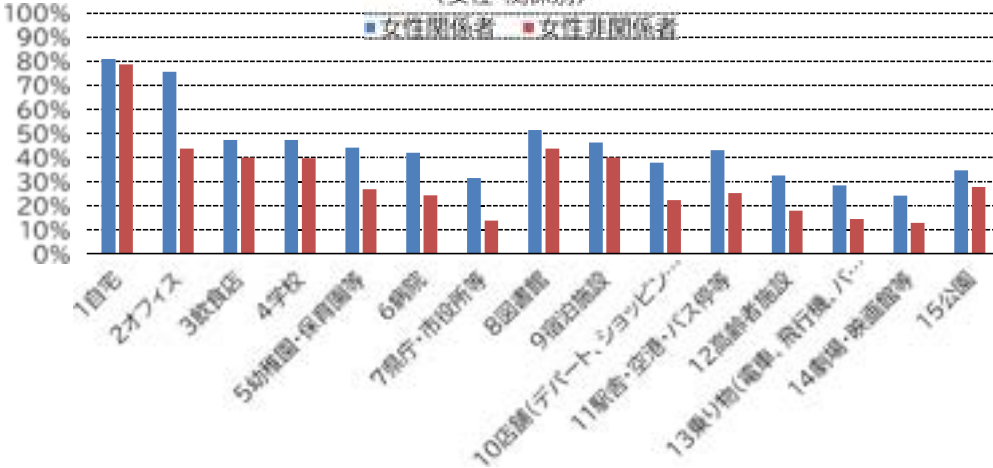


前年よりも男女ともに関係者の割合が低下。

2022年

あったらいいなと思う場所

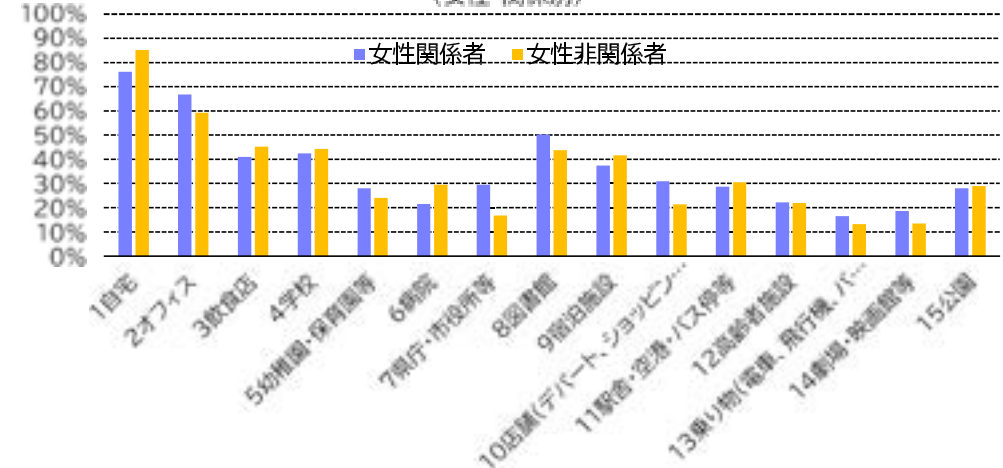
(女性・関係別)



2023年

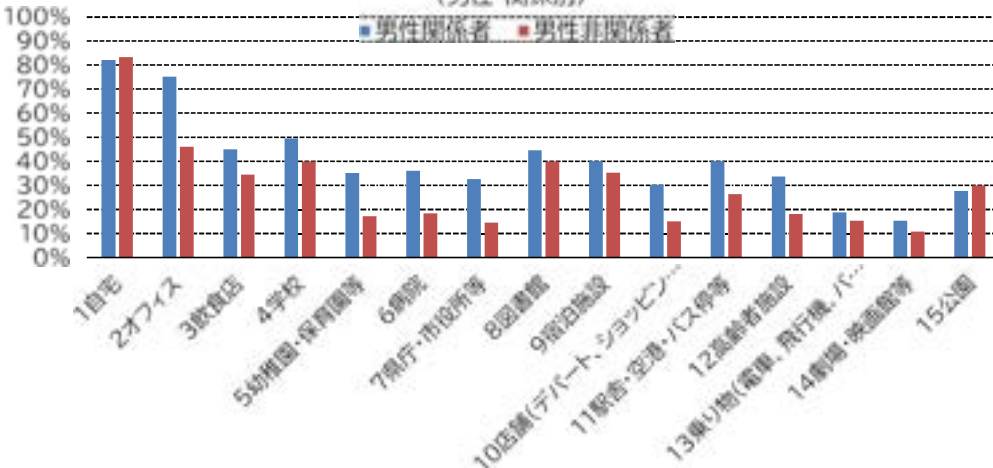
あったらいいなと思う場所

(女性・関係別)



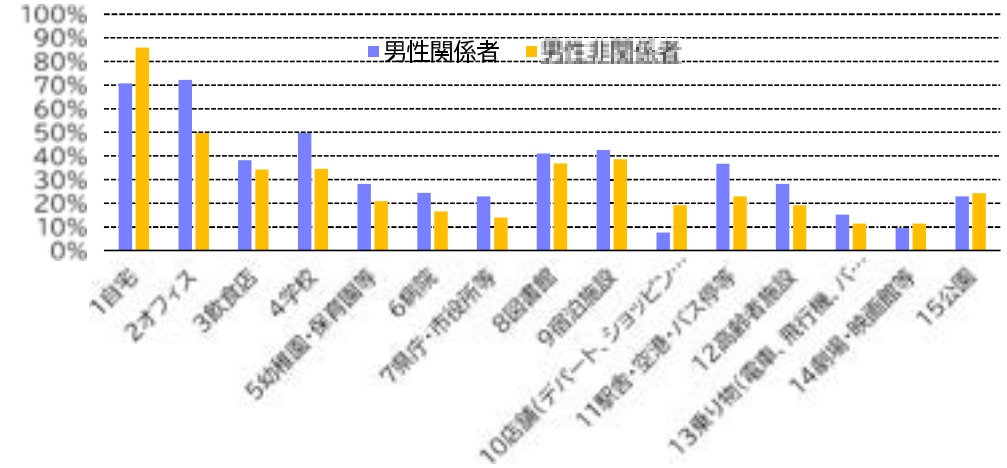
あったらいいなと思う場所

(男性・関係別)



あったらいいなと思う場所

(男性・関係別)

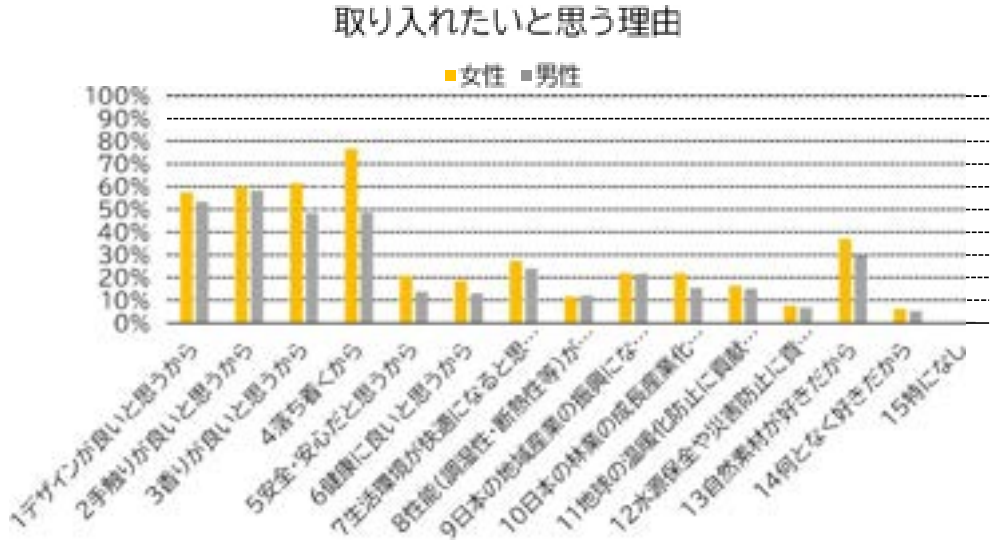


取り入れたいと思う理由は、**落ち着く、手触りが良い、デザインが良い、香りが良い、自然素材が好き**の順に高い。

2022年



2023年



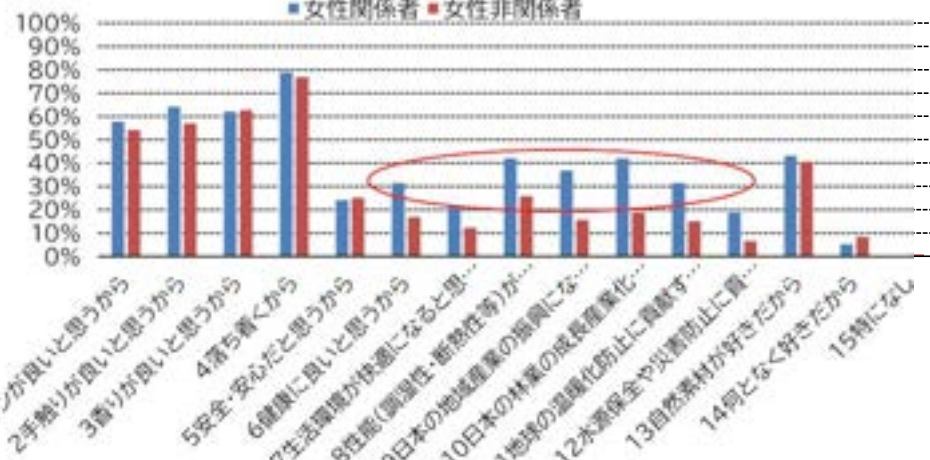
産業振興や成長産業化、温暖化防止、水源保全、性能などに対する関係者の割合が前回よりも低下。

2022年

取り入れたいと思う理由

(女性・関係別)

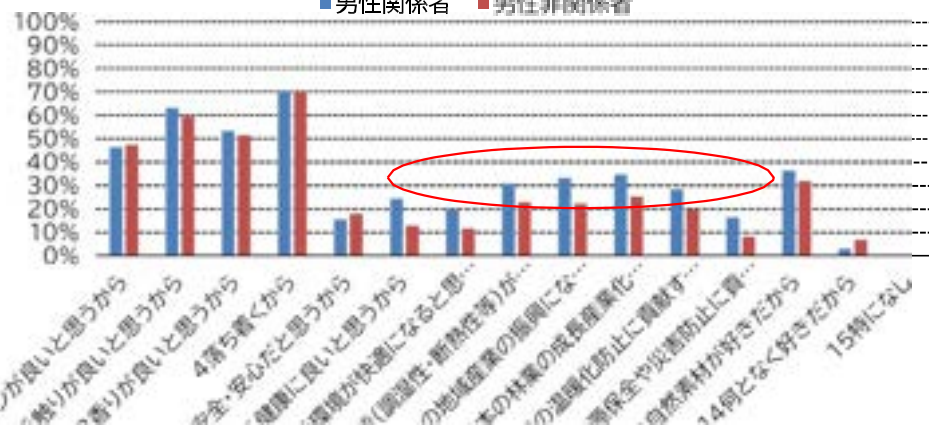
■女性関係者 ■女性非関係者



取り入れたいと思う理由

(男性・関係別)

■男性関係者 ■男性非関係者

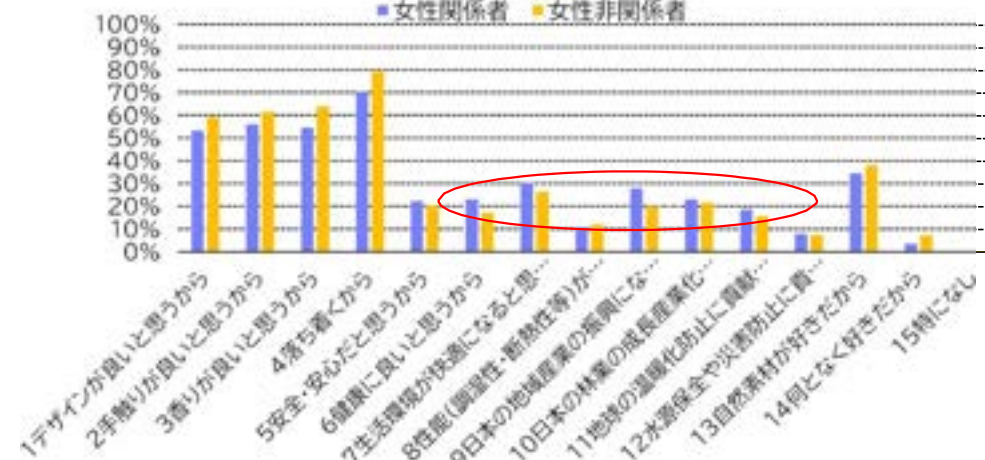


2023年

取り入れたいと思う理由

(女性・関係別)

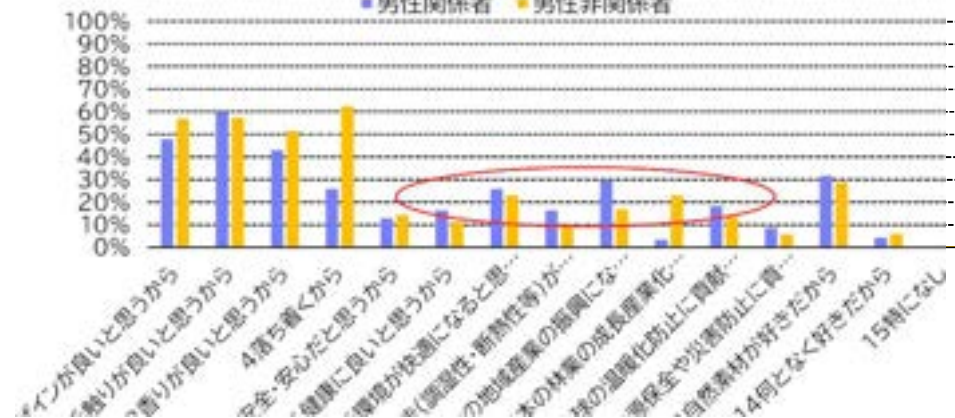
■女性関係者 ■女性非関係者



取り入れたいと思う理由

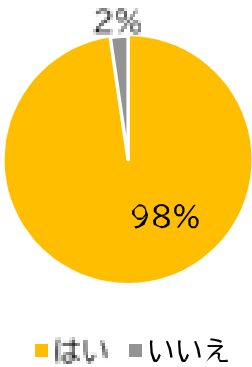
(男性・関係別)

■男性関係者 ■男性非関係者

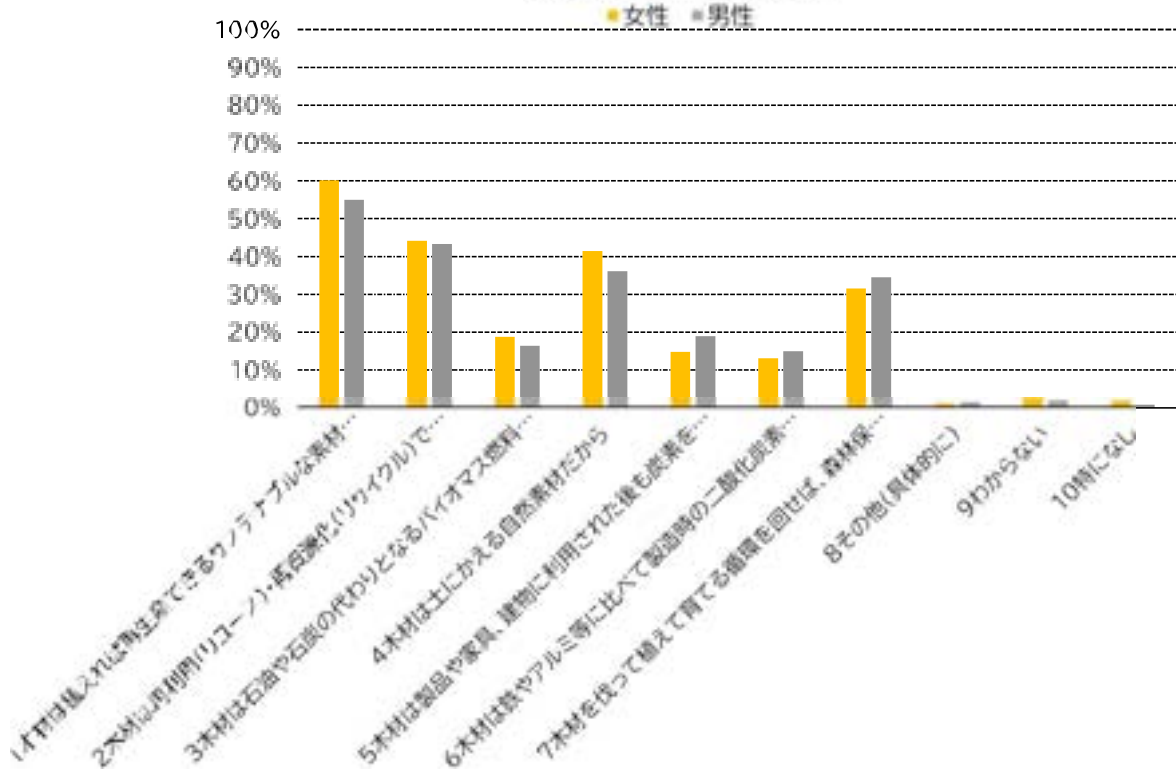


ほとんどの参加者が、木材を利用することは環境に良いと認識。その理由は、男女で5～6割の人が「植えれば再生産できる」を挙げる。続いて「リユース・リサイクルできる」が4割強、「土にかえる自然素材」が4割前後、「伐って植えて育てる循環を回せば、森林保全につながる」が3割強であった。

製品や家具、建物に木材を利用することは環境に良いと思うか



環境に良いと思う理由

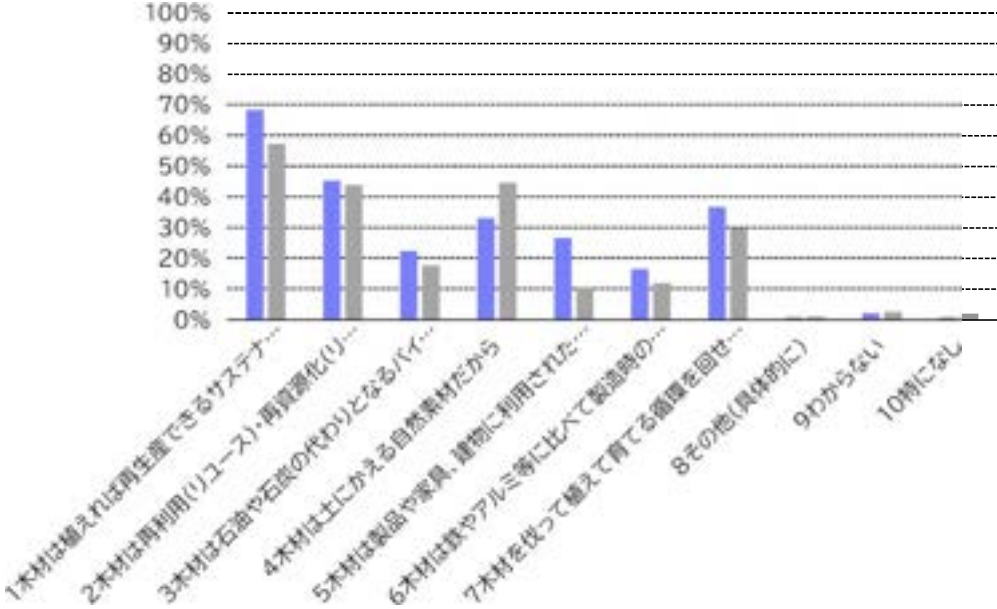


環境に良いと思う理由について、関係者と非関係者では、「木材は製品や家具、建物に利用された後も炭素を固定し続けるから」が、男女ともに3割前後の関係者が理由に挙げるも、非関係者は男女ともに1割程度と認識に違いがあった。

再生産、再利用、再資源化、自然素材、森林保全などが理由として挙げられている。これらに比べて、燃料や他資材からの代替効果（化石燃料代替効果、炭素排出削減効果、炭素貯蔵効果）については、理由として挙げられる割合が低い。

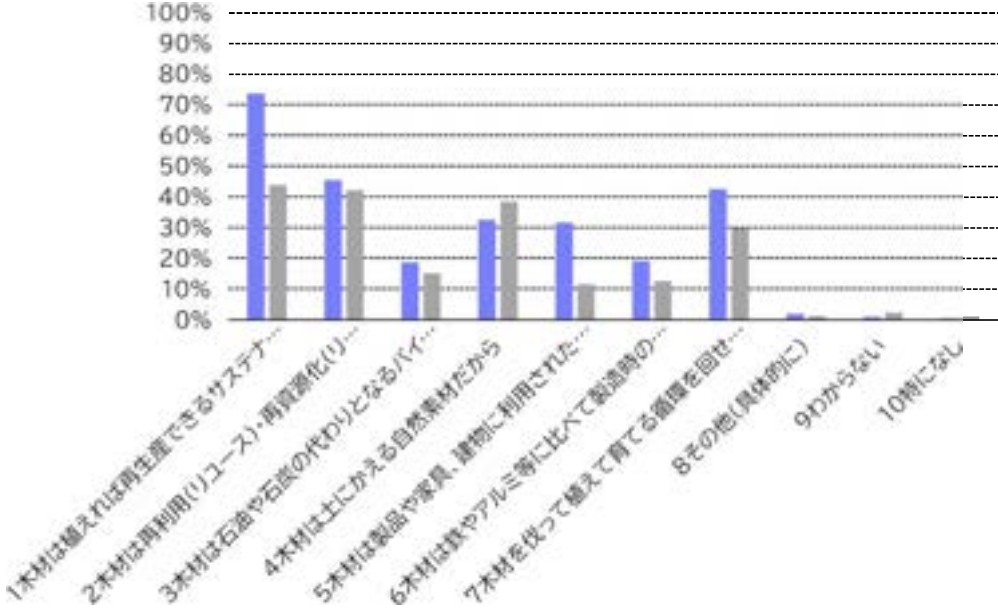
環境に良いと思う理由
(女性・関係別)

■女性関係者 ■女性非関係者



環境に良いと思う理由
(男性・関係別)

■男性関係者 ■男性非関係者



■ 自由記述欄(AIによる意見の要約)

(Chat GPT3.5)

自由記述に寄せられた意見としては、木材の環境へのポジティブな影響や、木の持つ安らぎや魅力についての肯定的な意見が書かれています。また、SDGsへの関心や森林保護、木材の再利用に対する期待、展示の興味深さ、地域社会への貢献などが述べられています。

■ ウッドデザイン賞2023 に寄せられた意見の要約(Google Gemini) 意見

1. 木材利用の促進：
 - 木材利用による環境負荷低減への期待(CO2吸収、国産材利用、森林再生など)
 - 日本の良さや職人の技術発信への期待
 - 木造建築の推進
 - 林業活性化への期待
2. 木材製品の魅力：
 - 温もり、癒し、安らぎを感じる
 - デザイン性、機能性、耐久性
 - 多様な用途への可能性
3. ウッドデザイン賞への評価：
 - レベルの高さを評価
 - 毎年楽しみにしている
 - 多くの作品に触れられる場として感謝

課題・要望

4. 木材利用の持続可能性：
 - 森林管理、違法伐採対策
 - 木材のダウンサイクル・アップサイクル
 - 環境負荷低減への取り組み
5. 情報発信：
 - ウッドデザインの認知度向上
 - 木材利用のメリット・デメリットの明確化
6. その他：
 - アンケートチラシの解像度向上
 - ウッドデザインロゴマークの色
 - 木造建築における緑化

全体的な印象

- ウッドデザイン賞2023は、多くの人々に木材の魅力や再認識させ、木材利用促進への関心を高める場となったことが伺えます。今後も、持続可能性への配慮や情報発信の充実など、課題克服に向けた取り組みが期待されます。

講評（農林中金総合研究所 安藤範親主任研究員より）

ウッドデザイン賞に対する印象は昨年に続き、とても良く、これからもこの良い印象を維持・向上させていくことが本協会の大切な使命であると実感しました。今回は、要約などにAIを利用しました。課題は、まだまだウッドデザイン賞の認知度も低く、活動を強化していきたいと思います。それがもっと多くの方々が本賞に作品を応募されることに繋がります。更にそのことが、結果、脱炭素社会に少しでも近づくことを期待して、活動していきたいと思います。

おわりに

東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2023」内のウッドデザイン賞受賞作品展示会場にて本アンケート調査を実施し、来場者1093名の方々にご回答をいただきました。本アンケート調査にご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

本年2024年「ウッドデザイン賞」は10周年の記念アワードになります。木のある豊かな暮らしの向上、木材利用促進や森林保全といった社会課題の解決に寄与できるためにも、多くの方々からの応募をお待ちしております。

最後に、展示会場にて本アンケート調査の実施にご協力いただきました調査研究部会の皆様に深く感謝申し上げます。

2024年7月23日

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会 調査研究部会事務局